

# 令和3年度 定期作況報告

(7月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

## I 気象概況

6月下旬:平均気温は平年より1.6℃高く、降水量は平年の2%、日照時間は平年の177%であり、高温・少雨・多照に経過した。

7月上旬:平均気温は平年より0.1℃低く、降水量は平年の42%、日照時間は平年の50%であり、少雨・寡照に経過した。

7月中旬:平均気温は平年より1.5℃高く、降水量は平年の0%、日照時間は平年の168%であり、高温・少雨・多照に経過した。

6月下旬から7月中旬までの平均気温は平年より1.5℃高く、降水量は平年の16%、日照時間は平年の130%であった。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	19.1	17.5	1.6	19.6	19.7	△ 0.1	23.6	20.7	2.9	20.8	19.3	1.5
最高気温(℃)	25.7	22.6	3.1	24.2	25.0	△ 0.8	30.0	25.9	4.1	26.6	24.5	2.1
最低気温(℃)	13.9	13.4	0.5	16.4	15.8	0.6	18.4	16.9	1.5	16.2	15.4	0.8
降水量(mm)	0.5	28.6	△ 28.1	14.5	34.5	△ 20.0	0.0	33.1	△ 33.1	15.0	96.2	△ 81.2
日照時間(hr)	91.8	51.9	39.9	29.6	59.0	△ 29.4	102.1	60.6	41.5	223.5	171.5	52.0

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作 況

5月20日 平年並

事由:播種は平年並の4月16日に行った。4月第4半旬は寡照に経過し、出芽期は平年より1日遅い4月23日であった。4月下旬から5月中旬までを通じた平均気温および日照時間は平年並であった。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗において、草丈は9.4-9.5cmで平年よりやや短く、茎数は1.0本/個体と平年並であった。主稈葉数は3.1-3.2枚と平年並で、100本あたりの地上部乾物重は1.96-1.98gと平年よりやや小さかった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21と平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:5月第5半旬の平均気温は平年並に経過し、活着は良好であった。5月第6半旬は低温・寡照に経過したが、6月上旬から6月中旬までは高温・多照に経過し、5月下旬から6月中旬までを通じた平均気温および日照時間は平年並であった。

6月20日において、草丈は26.5-28.0cmと平年よりやや短く、m<sup>2</sup>あたり茎数は324-375本、主稈葉数は7.3-7.5枚とそれぞれ平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

7月20日 平年並

事由:6月下旬および7月中旬までの平均気温は平年並から高温に経過し、幼穂形成期は平年より2日、止葉期は平年より3日早かった。

7月20日において、草丈は68.0-71.7cmと平年並からやや長く、m<sup>2</sup>あたり茎数は602-716本と少なく、主稈葉数は10.0-10.4枚と平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.16	4.16	0	4.16	4.16	0	
出芽期 (月.日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1	
移植期 (月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1	
幼穂形成期 (月.日)	6.28	6.30	△ 2	6.28	6.30	△ 2	
止葉期 (月.日)	7.14	7.17	△ 3	7.15	7.18	△ 3	
出穂期 (月.日)		7.27			7.27		
成熟期 (月.日)		9.14			9.13		
穂揃日数 (日)		7.0			7.2		
登熟日数 (日)		49			48		
生育日数 (日)		151			150		
移植時地上部乾物重(g/100本)	1.96	2.35	△ 0.39	1.98	2.30	△ 0.32	
苗の充実度(地上部乾物重/草丈)	0.21	0.22	△ 0.01	0.21	0.22	△ 0.01	
草丈 (cm)	移植時	9.5	10.7	△ 1.2	9.4	10.4	△ 1.0
	6月20日	28.0	29.7	△ 1.7	26.5	29.8	△ 3.3
	7月20日	71.7	67.7	4.0	68.0	68.1	△ 0.1
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	324	320	4	375	392	△ 17
	7月20日	602	716	△ 114	720	834	△ 114
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.1	3.2	△ 0.1	3.2	3.3	△ 0.1
	6月20日	7.3	7.0	0.3	7.5	7.2	0.3
	7月20日	10.0	10.1	△ 0.1	10.4	10.4	0.0
	止葉	10.0	10.1	△ 0.1	10.4	10.5	△ 0.1
稈長 (cm)		66.8			65.0		
穂長 (cm)		16.1			16.8		
穂数 (本/m <sup>2</sup> )		673			789		
一穂粒数 (粒/本)		50.2			40.7		
m <sup>2</sup> あたり粒数 (百粒)		338			321		
稔実歩合 (%)		93.5			92.9		
登熟歩合 (%)		86.3			82.4		
籾摺歩合 (%)		77.1			74.6		
屑米歩合 (%)		5.7			8.7		
精玄米千粒重 (g)		22.9			23.4		
わら重 (kg/a)		64.2			64.2		
精籾重 (kg/a)		77.2			76.3		
精玄米重 (kg/a)		59.5			56.9		
屑米重 (kg/a)		3.6			5.4		
収量平年比 (%)		100			100		
検査等級		2上			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土  
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a  
 播種量 : 中苗紙筒=180cc/箱  
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え  
 移植方法 : 手植え  
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

令和3年6月下旬～7月中旬までの概況は次のとおりである。

6月

下旬：平均気温は平年より1.4℃高く、降水量は平年の2%、日照時間は172%であり、高温・少雨・多照であった。

7月

上旬：最高気温が平年より1.4℃低かったが、平均気温は平年並であった。降水量は平年の12%、日照時間は69%であり、少雨・寡照であった。

中旬：平均気温は平年より2.7℃高く、7月17～20日は真夏日であった。降水量は0mm、日照時間は187%であり、高温・少雨・多照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より1.4℃高く、降水量は本期間の合計降水量が4mm（平年の5%）と著しく少なく、日照時間は平年の143%であり、高温・少雨・多照であった。

## 気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下旬	18.2	16.8	1.4	24.0	21.7	2.3	13.4	12.7	0.7	0.5	29.7	△ 29.2	1.0	2.8	△ 1.8	82.8	48.1	34.7
7月	上旬	18.8	18.9	△ 0.1	22.7	24.1	△ 1.4	15.5	15.0	0.5	3.5	30.1	△ 26.6	3.0	3.0	0.0	35.1	51.0	△ 15.9
	中旬	22.6	19.9	2.7	28.7	24.8	3.9	17.5	16.0	1.5	0.0	28.4	△ 28.4	0.0	2.4	△ 2.4	100.9	53.9	47.0
平均(合計)		19.9	18.5	1.4	25.1	23.5	1.6	15.5	14.6	0.9	4.0	88.2	△ 84.2	4.0	8.0	△ 4.0	218.8	153.0	65.8

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## 1. 秋まき小麦(令和2年播種)

令和2年10月20日作況：やや不良

事由：9月上中旬は断続的に降雨があったため播種作業は遅れ、播種期は平年より4日遅い9月23日となった。播種後の気温は概ね平年並に推移したが、出芽期は平年より5日遅い10月1日となった。出芽が遅れたことから、10月20日現在で草丈、茎数ともに平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

令和3年5月20日作況：平年並

事由：越冬前後の茎数は平年並で、越冬後の茎数の目安である800～1300本/m<sup>2</sup>を上回った。積雪期間は平年より5日短い115日で、雪腐病による冬損は軽微でほぼ平年並であった。5月20日現在の草丈、茎数はほぼ平年並となった。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和3年6月20日作況：やや良

事由：出穂期は平年より5日遅い6月5日となった。6月上旬以降は高温多照に経過し、生育は旺盛となった。6月20日現在の草丈は平年よりやや長く、茎数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

令和3年7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降小雨・多照に経過し、また7月中旬は高温となった。このため登熟は早く進み、成熟期は平年より1日遅い7月18日で、登熟期間は平年より4日短かった。成熟期における稈長は平年より長く、穂数は多かったが、穂長はやや短かった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R2.月.日)	9.23	9.19	4
出芽期	(R2.月.日)	10.1	9.26	5
出穂期	(R3.月.日)	6.5	5.31	5
成熟期	(R3.月.日)	7.18	7.17	1
冬損程度	(0:無~5:甚)	0.6	0.4	0.2
草丈 (cm)	R2.10.20	17.1	19.3	△ 2.2
	R3.5.20	55.7	52.9	2.8
	R3.6.20	99.3	95.7	3.6
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	R2.10.20	529	717	△ 188
	越冬前(11月)	1374	1373	1
	越冬後(4月)	2125	2071	54
	R3.5.20	1288	1315	△ 27
	R3.6.20	856	794	62
成熟期に おける	稈長 (cm)	91	87	4
	穂長 (cm)	8.2	9.0	△ 0.8
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	856	734	122
倒伏程度	(0:無~5:甚)	0.0	1.0	△ 1.0
子実重	(kg/10a)		725	△ 725
容積重	(g)		816	△ 816
千粒重	(g)		39.7	△ 39.7
品質	(等級)		1等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成29年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

## 2. 春まき小麦

5月20日作況: やや不良

事由: 本年の根雪終(融雪剤散布)は、平年より5日早い3月25日であった。播種期は平年より2日遅い4月16日であった。播種後、やや低温に経過したため出芽期は平年より6日遅い5月3日(「春よ恋」と5月4日(「はるきらり」)であった。出芽期が遅かったことから、現在の草丈は平年より短く、莖数も平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

6月20日作況: やや不良

事由: 5月下旬が低温湿潤であったため、生育はやや停滞した。6月に入り生育は回復してきており、出穂期は平年より5日遅いにとどまった。草丈は平年よりやや低く、莖数はやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況: やや良

事由: 稈長は平年並で、穂数は平年比109~113%とやや多い。倒伏の発生はなく、赤かび病の発生もほぼない。登熟も順調である。ただし、「春よ恋」で赤さび病が多発したため、収量への影響が懸念される。「はるきらり」には特段の障害はない。

以上により、現在の作況はやや良である。

項目 \ 年次	品種名	春よ恋			はるきらり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.16	4.14	2	4.16	4.14	2
出芽期	(月.日)	5.03	4.27	6	5.04	4.28	6
出穂期	(月.日)	6.19	6.14	5	6.18	6.13	5
成熟期	(月.日)		7.27			7.29	
草丈 (cm)	5月20日	17.2	23.9	△ 6.7	18.7	26.4	△ 7.7
	6月20日	79	85	△ 6	78	88	△ 10
莖数 (本/m <sup>2</sup> )	5月20日	443	703	△ 260	361	660	△ 299
	6月20日	624	639	△ 15	626	640	△ 14
7月20日 または 成熟期 の	稈長 (cm)	88	90	△ 2	87	88	△ 2
	穂長 (cm)	8.8	8.4	0.4	8.5	7.6	0.9
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	498	458	40	511	452	59
子実重	(kg/10a)		515			558	
千粒重	(g)		42.6			46.4	
容積重	(g)		836			837	
品質	(等級)		1等			2上	
子実重平年対比	(%)		100			100	

注)注) 平年値: 前7か年中、平成28年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均。

### 3. 大豆

6月20日 やや良

事由：播種期は平年より3日早い5月19日、出芽期は平年並の6月2日であった。出芽後の気温が高く推移したことから、主茎長はやや長く、主茎節数もやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日 やや良

事由：開花期は平年より4日早い7月12日であった。主茎長、主茎節数、分枝数のいずれも平年をやや上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	6.2	6.2	0
開花期	(月.日)	7.12	7.16	△ 4
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	12.8	9.8	3.0
	7月20日	44.9	39.5	5.4
	8月20日		51.3	
	9月20日		50.9	
	成熟期		51.2	
主茎節数 (節)	6月20日	3.3	2.9	0.4
	7月20日	9.9	9.3	0.6
	8月20日		9.7	
	9月20日		9.7	
	成熟期		9.8	
分枝数 (本/株)	7月20日	7.8	6.5	1.3
	8月20日		7.1	
	9月20日		6.8	
	成熟期		6.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日		74.2	
	9月20日		67.3	
	成熟期		67.0	
一莢内粒数			1.89	
子実重 (kg/10a)			408	
百粒重 (g)			39.0	
屑粒率 (%)			1.7	
品質 (等級)			2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。



#### 4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より2日遅い5月26日であった。出芽期は平年より3日早い6月10日であった。6月20日現在で主茎長は平年より長く、主茎節数は平年よりやや少ないことから、生育は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降は小雨多照となり、また7月中旬は高温となった。このため、主茎長は平年より長いが、主茎節数および分枝数は平年より少ない。このため生育は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
項目	年次			
播種期	(月.日)	5.26	5.24	2
出芽期	(月.日)	6.10	6.13	△ 3
開花期	(月.日)		7.26	
成熟期	(月.日)		9.14	
主茎長 (cm)	6月20日	6.3	4.0	2.3
	7月20日	20.6	17.7	2.9
	8月20日		62.5	
	成熟期		64.1	
主茎節数 (節)	6月20日	1.4	1.6	△ 0.2
	7月20日	7.3	8.1	△ 0.8
	8月20日		14.7	
	成熟期		14.4	
分枝数 (本/株)	7月20日	2.6	2.9	△ 0.3
	8月20日		3.7	
	成熟期		3.8	
着莢数 (莢/株)	8月20日		56.8	
	成熟期		52.3	
一莢内粒数			6.17	
子実重	(kg/10a)		330	
百粒重	(g)		13.3	
屑粒率	(%)		5.5	
品質	(等級)		4上	—
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、令和2年(最凶)を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数は平成30年も除いた4カ年平均。

## 5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より7日早い3月27日で、植付期は平年より2日早い4月23日、萌芽期は平年より1日早い5月20日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：5月下旬は低温寡照であったが、6月は気温が高く多照に経過したことから、開花始は平年並であった。茎長はやや短い、茎数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬からまとまった降雨がなく、6月下旬および7月中旬が高温多照であったことから、圃場は干ばつ傾向で推移した。7月20日現在で茎数は平年並であり、茎長が平年より短い。7月上旬より茎葉の萎凋が生じており、早期枯凋による塊茎肥大期間の短縮が懸念される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次	男爵薯		
	本年	平年	比較
植付期 (月.日)	4.23	4.25	△ 2
萌芽期 (月.日)	5.20	5.21	△ 1
開花始 (月.日)	6.17	6.17	0
枯凋期 (月.日)		8.19	
茎長 6月20日 (cm)	35	39	△ 4
7月20日	39	46	△ 7
茎数 6月20日 (本/株)	5.1	4.5	0.6
7月20日	5.0	4.8	0.2
8月20日における			
上いも数 (個/株)		12.0	
上いも平均一個重(g)		89	
上いも重 (kg/10a)		4677	
でん粉価 (%)		15.7	
枯凋期における			
上いも数 (個/株)		12.0	
上いも平均一個重(g)		89	
上いも重 (kg/10a)		4687	
中以上いも重(kg/10a)		3971	
でん粉価 (%)		15.5	
上いも重平年対比 (%)		100	
中以上いも重 " (%)		100	
でん粉価 " (%)		100	

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年平均  
「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。